

入場無料

国際シンポジウム 漁業資源管理と公平性

世界的な水産資源消費が拡大する中で
水産大国日本の漁業はどう向き合うのか

2017.6.21(水) 14:00~15:30

会場：日本財団ビル2階 大会議室

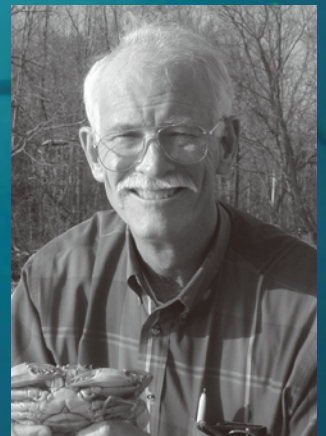
[基調講演]

- ▶ 14:00
「チェサピーク湾の魚種についての
漁業資源管理と歴史について」
Tuck Hines氏 (スミソニアン環境研究所所長)
- ▶ 14:45
「日本の漁業資源管理と歴史について」
小松正之氏 (東京財団上席研究員)
- ▶ 15:00
パネルディスカッション
「漁業資源管理；現世代と次世代」

●メインスピーカー

Tuck Hines氏

アメリカ・スミソニアン
環境研究所所長
The Smithsonian Environmental
Research Center/SERC, Director
メリーランド州・エッジウォーターにある世界最先端の生態系
研究機関であるSERCにおいて、
長期的な研究を行う180名以上の
科学者チームを監督。
研究分野：ワタリガニの生態、漁
業・水産養殖および漁業復興の
影響



●スピーカー

小松 正之氏

東京財団上席研究員、一般社団法人生態
系総合研究所代表理事
水産庁入庁後、ワシントン条約、国連食糧
農業機関などの国際会議に数多く出席し、
日本の業業の権利を守るために活躍。
2005年ニューズウィーク誌「世界が尊敬
する日本人100人」に選出。



●コーディネーター

八田達夫氏 公益財団法人 アジア成長研究所所長



■アクセス
東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル内
東京メトロ「虎ノ門駅」3 出口より徒歩 5 分
「溜池山王駅」9 出口より徒歩 5 分
「国会議事堂駅」3 出口より徒歩 6 分

お申し込み

<http://s.tkfd.or.jp/2rh62Su>

※オンラインでの事前申込が必須となります

